

東亜戦争は日本が勝った: ヘンリー・S. ストークス・2017 「世界史の中の日本」

英国人記者が見た 連合軍戦勝史観の虚妄 ヘンリー・S. ストークス・2017

普及版大東亜戦争は日本が勝った: ヘンリー・S. ストークス・2021

世界史を俯瞰して明らかになった大東亜戦争の真実。

日本とアジアの大東亜戦争: 侵略の世界史を変えた大東亜戦争の真実 吉本貞昭・2013

15世紀から500年も続いた、西欧列強による植民地支配。この、白人による植民地支配に従わない国が、極東にひとつだけあった。それが、わたしたちの祖国、日本である。なぜ ...

大東亜戦争肯定論 林房雄・2014・

戦争を賛美する危険な暴論か?敗戦恐怖症を克服する叡智の書か?幕末から終戦までを「東亜百年戦争」として捉えた視点は、歴史の連続性という重要な見方を示唆しながら、禍々 ...

「大東亜戦争」はなぜ起きたのか: 汎アジア主義の政治経済史 松浦正孝・2019

なぜ「アジア解放の聖戦」という理念を掲げながら、アジア諸国を植民地とし侵略したのか。新たな歴史像を提示。

保守と大東亜戦争 中島岳志 2018

戦前の日本の立場に積極的な意義を見出そうとし、第二次世界大戦を東アジア解放のための「聖戦」だったとみなす「保守」派。しかし、戦争を賛美することが、いつから「保守 ...

新大東亜戦争肯定論 富岡幸一郎・2006

あの「戦争」の意味を深く問わなければ、我々はいつまでも虚構の「平和」をむさぼり続けるしかない—日本人が戦った戦争を正視し、日本の未来に賭ける、渾身の論考。

大東亜戦争日本は「勝利の方程式」を持っていた!: 茂木弘道・2018

大東亜戦争における日本の必勝戦略とは何か、そして、なぜその戦略は実現できなかったのか。「対米英蘭蔣戦争終末促進に関する腹案」を基に徹底検証した、目からウロコの一。

世界史から見た大東亜戦争: アジアに与えた大東亜戦争の衝撃 吉本貞昭・2015

大東亜戦争終結後、アジアに巻き起こった民族独立戦争と民族独立運動。500年におよぶ白人の植民地支配に終止符を打った、“第二次大東亜戦争”とも言うべき、この戦いには英 ...

大東亜戦争を敗戦に導いた七人 渡辺望・2015

戦争責任とは「敗戦責任」である。勝てた戦になぜ負けた?永続敗戦の精神構造を生み出した“真の戦犯”の正体

日本の失敗: 「第二の開国」と「大東亜戦争」 松本健一・2006・

日本はなぜ無謀な戦争に突入し敗れたのか—ヨーロッパ諸国から同時期に文明国と認められた日米宿命の対立

の根底には、中国問題があった。その端緒「対支二十一カ条の要求」 ...

大東亜戦争肯定論普及版 林房雄・2006・

人種差別から読み解く大東亜戦争 岩田温・2015

1919年パリ講和会議—日本が提出した「人種差別撤廃案」はアメリカやイギリスの反対で否決された。あの戦争に至るまでの流れを「人種差別」の観点から明らかにする。

「大東亜」戦争を知っていますか 倉沢愛子・2002

実はマレー半島上陸で始まった開戦から戦後まで—東南アジア研究にとりくむ著者が若い世代に語る日本と戦争の真実。

大東亜戦争と高村光太郎: 誰も書かなかった日本近代史 岡田年正・2014

大東亜戦争は侵略戦争なのか?アジア解放の戦いなのか?現代ではなく当時の視点で見つめれば、国のあるべきかたちが見えてくる。戦後のGHQ史観と戦後教育で貶められた高村光太郎 ...

元日本兵が語る「大東亜戦争」の真相 「しんぶん赤旗」社会部取材班・2006

大東亜戦争の大義: 日本青年に贈る 中川八洋・2000

本書の前編は、日本ではなじみにくく日本人の膚にあわない謀略学という方法論をもって大東亜戦争が国家意思として決定されていくその過程の中枢に斬り込んでいる。後編では ...

大東亜戦争太平洋戦争はなぜ起ったのか 1996

「優位戦思考」で検証する大東亜戦争、日本の勝機: 真摯な敗戦の分析がこの国の未来を拓く 日下公人, 上島嘉郎・2020

日下氏が提唱してきた優位戦思考という観点から、大東亜戦争における日本の「失敗の本質」を探る。

昭和天皇と大東亜戦争: 平和と繁栄を願い万世のため太平を開く 山本覚雄・2009

戦争の歴史検証大東亜戦争を考える: 日本人の主張と反省 - 中村一男・2000・

本書では、まず十六世紀頃から十九世紀後半、即ち我国の明治維新の頃までの欧米諸国及びアジア三国即ち我国と、我国との関係の深いシナ及び朝鮮の諸王朝の対外政策並びにそ ...

大東亜戦争の真実: 東条英機宣誓供述書 東條英機, 東条由布子・2005

天皇に責任なし、責任は我に在り。封印されたGHQ発禁第一号。

戦争の歴史検証大東亜戦争を考える: 日本人の主張と反省 - 中村一男・2000

本書では、まず十六世紀頃から十九世紀後半、即ち我国の明治維新の頃までの欧米諸国及びアジア三国即ち我

国と、我国との関係の深いシナ及び朝鮮の諸王朝の対外政策並びにそ ...

本居宣長の大東亜戦争 田中康二・2009・

「大和魂」「武士道」「日本精神」など、国学は軍国主義のイデオロギーとして、同時代の思想や新聞・雑誌などのジャーナリズム、また教育現場に大きな影響を与え続けた

決定版大東亜戦争: 波多野澄雄, 赤木完爾, 川島真・2021

「あの戦争」は正しく「大東亜戦争」と呼ぶべきである——。当代最高の歴史家たちによる決定版。

大東亜戦争責任を取って自決した陸軍将官26人列伝 伊藤禎・2018

大東亜戦争で日本はいかに世界を変えたか 加瀬英明・2015

日本国民が人種差別の歴史に終止符を打った!肌の色が違うがために辱められ、惨めな境遇を強いられてきた民が、日本の働きによって重い鎖から解放された。

大東亜戦争詩文集 田中克己, 三浦義一, 影山正治・2006・

殉難遺詠集/悲天抄/みたみわれ抄/他4篇

大東亜戦争の謎を解く: 第二次大戦の基礎知識・常識 別宮暖朗, 兵頭二十八・2013

知っておきたい第二次世界大戦の真相。日本の対米戦略はなぜ失敗だったのか?また、なぜ、そのように構想したのか。現在起こっている政治的、外交的問題の解決の鍵が本書の。

経済で読み解く大東亜戦争: 「ジオ・エコノミクス」で日米の開戦動機を解明する 上念司・2015

あの戦争は何だったのか?日本は何のために戦ったのか...?「経済的視点で、大東亜戦争に明快な解釈と評価を下し、偏向史観を一刀両断にする。戦後70年の節目、日本人必読の一。

東京裁判速記録から読む大東亜戦争: 三つの戦争 亀谷正志・2018

極東国際軍事裁判(東京裁判)から70年。日本を裁くことを前提に開廷された極東国際軍事裁判。その極東国際軍事裁判の速記録を辿り、大東亜戦争の真実を読み解く。

大東亜戦争の秘密: 近衛文麿とそのブレーンたち 森嶋雄仁・2009・

日中戦争・日米戦争秘史!大東亜戦争とは、一体どのような戦争で、その本質は何であったのか。そこにはどんな仕掛けがあり、どんな陰謀があったのか。またどんな人たちが暗雲。

東京裁判速記録から読む大東亜戦争: 三つの戦争 亀谷正志・2018

極東国際軍事裁判(東京裁判)から70年。日本を裁くことを前提に開廷された極東国際軍事裁判。その極東国際軍事裁判の速記録を辿り、大東亜戦争の真実を読み解く。

大東亜戦争と50年戦争 本多勝一・1998

戦争責任論へ新提唱。太平洋戦争は「侵略」か「解放」か「ケンカ」か。反国際的「恥さらし」論者を切る。

大東亜戦争の開戦目的は植民地解放だった: 帝国政府声明の発掘 安濃豊・2017

大東亜戦争によるアジアの解放は結果論や後づけではない。大日本帝国は開戦時に「政府声明」を発表し、開戦目的の一つがアジアの植民地解放であることを明確に謳っていた!

大東亜戦争の秘話 名越二荒之助, 「昭和の戦争記念館」刊行会・1999・

恩讐の彼方、日本と米・英・独・伊に咲いた武士道。「昭和の戦争」は、忌まわしい過去でしかなかったのか

抹殺された大東亜戦争: 米軍占領下の検閲が歪めたもの 勝岡寛次・2005

大東亜戦争は、アメリカが悪い 鈴木敏明・2015・

「日本だけがすべて悪い」という自虐史観の前提なしに、「戦争にも相手がある」という現実感覚で、海外資料を博搜、事実関係を再確認、そこに真実が浮上した。素人だから、

憲法第九条大東亜戦争の遺産: 元特攻隊員が託した戦後日本への願い 吹田尚一・2014

大東亜戦争は愚かな戦争だったと非難するのは易しい。しかし世界最強国を相手に3年9か月にわたり独りで戦ったという事実は重い。それを解明するには歴史を遡り、また世界政治..

境界 BORDER vol.1 大東亜戦争の記憶: ソース: 出版社 2022

「太平洋戦争」「先の大戦」と称される「大東亜戦争」を体験された8人の方々の手記集。国家同士における相容れぬナショナリズムの境界、その諍いから生じた生と死を分けた...

近現代日本の興隆と大東亜戦争: 戦争を無くすことができるのか 吹田尚一・2014

大東亜戦争は愚かな戦争だったと非難するのは易しい。しかし世界最強国を相手に3年9か月にわたり独りで戦ったという事実は重い。それを解明するには歴史を遡り、また世界政治...

大東亜戦争歌集 日本文学報国会・2005

いわゆる十五年戦争下で、国民がいかに戦争の波にまきこまれ、どのような形で結果として戦争に加担していたかを検証していくための貴重な作品集です。本書は、日本文学報

大東亜戦争とマレー、昭南、英領ボルネオ虐殺の真相 加藤裕・2015・

三年余りの軍政下で、何が起きていたのか。敗戦後、日本軍関係者はどういう状況下にあったのか。作戦に参加した第二十五軍司令部隷下の戦友会から聴き取り調査を行い、現地...

日本人と大東亜戦争 小原良文・1998

指針なき現代日本人の心の由来を見つめ、心の内的秩序を築くいとぐちとして、満州事変から太平洋戦争に至る日本の歴史を、事実と理念の両面からとらえ直す。

大東亜戦争ここに甦る: 戦争と軍隊、そして国運の大研究 小室直樹・1995

大東亜戦争回顧録 佐藤賢了・1966

されど、大東亜戦争の真実: インド・パール判事の霊言 大川隆法・2015・

大東亜戦争へ至る歴史: 日本はどこで何を間違えたのか 斉藤剛・2013・

日本人はなぜ戦ったのか。日本が大東亜戦争に向かった誘因を探るには、中華思想に対抗する尊皇思想の生まれた江戸時代、明治維新、日清・日露戦争、ファシズムとナチズム、.

市川房枝と「大東亜戦争」: フェミニストは戦争をどう生きたか 進藤久美子・2014

非戦論から戦争容認・協力へ。膨大な一次資料を渉猟しつつ、フェミニスト市川房枝の戦時を再検証し、戦後平和民主主義の原点を明らかにする。

大東亜戦争: アジアの曙: その歴史的意義: 太平洋での敗戦と戦争責任 池田俊明 2019・

公開霊言東條英機、「大東亜戦争の真実」を語る 大川隆法・2013

世紀末から見た大東亜戦争: 戦争はなぜ起こったのか プレジエント社 1991

世界から見た大東亜戦争 名越二荒之助・1991

大東亜戦争敗北の本質 杉之尾宜生・2015

なぜ日本は大東亜戦争に敗れたのか。情報・対情報・兵站の軽視、そしてそれを招いた科学的思考の欠如、日露戦争辛勝以来の組織の制度疲労がまず原因として挙げられる。だが ...

米ソのアジア戦略と大東亜戦争 桜島有三・2007 今明らかにされる大東亜戦争の真相。

大東亜戦争とインドネシア: 日本の軍政 加藤裕・2002

日本軍によって数々の虐殺事件があったといわれる、戦時下のインドネシア。「スマトラの防空壕での労務者虐殺」「東ティモールでの住民虐殺」.....

大東亜戦争と本土決戦の真実: 日本陸軍はなぜ水際撃滅に帰結したのか 家村和幸・2015

アメリカはなぜ終戦を急いだか?元寇に次ぐ日本史上二度目の本土防衛戦の真実。

古地図は歴史の証言者: 大東亜戦争と災害を語る 菊地正浩・2019・

地図はその国の文化水準のバロメーターとも言われ、我が国の地図づくりは世界最高水準にあるが、ここに至るまでには先人達の艱難辛苦の歴史がある。そして、これらの古地図 ...

同盟国タイと駐屯日本軍:「大東亜戦争」期の知られざる国際関係 吉川利治・2010

第二次世界大戦期の日本・タイ同盟関係の真実とは—英領ビルマ・マラヤ侵攻上、タイに駐屯せざるを得なかった日本と独立国家の威信を守らなければならなかったタイ。

大東亜戦争を心から正しいと言えるようになる本 遠藤維大・2004

英国人捕虜が見た大東亜戦争下の日本人: 知られざる日本軍捕虜収容所の真実 デリククラーク・2019・
著者クラークは、画家としての目を通して、戦時中の捕虜収容所や作業現場、そこにいた捕虜や日本人たちを、極めて的確、かつユーモラスに記述している。またクラークは、

大東亜戦争-その真実: 次世代に語り継ぐこと 林謙治郎・2007

侵略の自虐史観から解放されてあの戦争の意義を再評価すれば、日本の子供たちにも誇りをもって語り継ぐべき民族の叙情詩を取り戻してやれるのではないだろうか。

大東亜戦争「敗因」の検証:「帝国海軍善玉論」の虚像 佐藤晃・1997

ミッドウエー、ガダルカナルをはじめ多くの戦闘における帝国海軍の戦略と実際の行動を検証すると、貧困な情報収集能力、戦果誇大報告の悪癖、一貫性のない戦略など

大東亜戦争大観論: 大東亜戦争は世界史上の最高峰 草地貞吾・1995

大東亜戦争の遺産 上山春平・1972

大東亜戦争を知らない日本人へ 田母神俊雄・2015

先の大戦の知られざる真実20。世界は日本をどう評価したのか?教科書に載っていない5人の軍人。

昭和天皇の祈りと大東亜戦争:『昭和天皇実録』を読み解く 勝岡寛次・2015

『昭和天皇実録』で初めて明らかにされた「御告文」と「御祭文」。大東亜戦争の間に示された昭和天皇の深い祈りとご覚悟を読み解く。